



探究ニュース Access No. 47

発行日 令和8年2月19日

目次

- I 探究成果発表会に向けて
- II 活動報告～国際交流事業～
- III 活動報告～探究活動～

I 探究成果発表会に向けて

1年生は10のプロジェクトにわかれ、グループごとに半年間探究活動をすすめてきました。2年生は1年をかけて文献整理や実験などを繰り返しながら、研究論文を完成させました。いよいよその成果を発表する探究成果発表会が3月14日(土)に行われます。現在、探究成果発表会実行委員会が、ポスター発表課・口答発表課・総務課・広報課に分かれ、実行委員会の幹部たちを中心に準備を進めているところです。

また、他の都立高校生や八王子市内の中学生も発表会に参加します。お互いに充実した発表を行って良い刺激を与えあえるよう、ブラッシュアップしていきましょう。



みなさんこんにちは！ 2025年度探究成果発表会実行委員長の49期神山あさひです。4月からゼミ長会の運営等を行って来ましたが時の流れとは早いもので、現在は探究B・Cともに仕上げの段階に入りました。1年生は約半年間、2年生は1年間をかけて百考千慮してきた探究は、ヒガシ生の知恵と好奇心が盛りだくさんです。

そしてこれらの探究活動の成果を発表する成果発表会の時期が近付いて来ている！ 実行委員会は11人の幹部を中心に、組織作りから実際のパンフレットや論文集制作、当日の運営まで3月14日の成果発表会に向けて準備を進めています。

成果発表会に向けて全力で準備をするのは、目の前にやらなければならない業務があるから、ただそれだけではありません。成果発表会当日は、ヒガシ生がそれまでテーマについて探し求め、さらに究め続けてきた成果を発表し意見を交わす声が校舎を満たします。そこで生まれる、研究を誰かに知ってもらい、新たな視点とともに議論を深めることの楽しさを支えるために、私たち実行委員会は全力で準備します。

ヒガシ生が1年間の成果を存分に発揮できるように、またご来校いただいた方々には成果発表会をスムーズに楽しんでいただけるように、残り約1ヶ月半精一杯頑張ります！

R7 探究成果発表会実行委員会委員長 2-2 神山あさひ

II 活動報告～国際交流事業

台湾渡航記



参加した生徒の感想



正直、行く前は「海外研修って意識高い人が行くやつでしょ…」って思っていました。でも行ってみたら、英語を話す必要がある環境が楽しすぎて、モチベが一気に上がりました。通じないことも多かったけれど、それが逆に悔しくて、「もっと話せるようになりたい」って本気で思いました。

高雄高級中学の交流がすごく良くて、みんな優しく、こっちの拙い英語でも最後まで聞いてくれたのが嬉しかったです。

成功大学でも、大学の雰囲気とか、話してくれた先生・学生さんがすごく刺激的で、「自分もこういう場所で学びたいな」と思えました。

来年行く人には、迷ってるなら絶対行った方がいいって言いたいです。行った後に絶対価値が分かります。

5泊6日は最初「長いかな？」と思ったけれど、終わった今は短すぎる！って感じました。毎日イベントがまわっていて、特に高雄の生徒さんとの時間が濃かったです。夜の4人グループ散策も楽しかったし、シティーツアーも思い出が多すぎます。B&Sも緊張したけど、現地の人と行動することで、観光じゃなくて「生活に近い台湾」を感じられたのが良かったです。

あと、正直言うと…色々もらいすぎて申し訳なくなりました。次に行く人は、日本のお土産をちゃんと準備して行くといいと思います。

入学した時はカナダ研修しか考えてなくて、台湾は正直ノーマークでした。でも今回参加してみて、海外が初めての自分でも挑戦しやすく、すごく良い研修だったと思います。

高雄高級中学の交流はもちろん、成功大学での発表や大学生との会話が特に印象に残りました。「学びってこういうことかも」って思える瞬間が何回もあって、進路の考え方が変わりました。

ホームステイも興味はあるけど、不安もあります。でも今回みたいに、受け入れてくれる人が温かいなら、挑戦してみたい気持ちも強いです。来年の人には、「不安があっても大丈夫。行ったら世界が広がる」って伝えたいです。

Ⅲ 活動報告～探究活動～

東京都立大学 第6回探究学習発表会

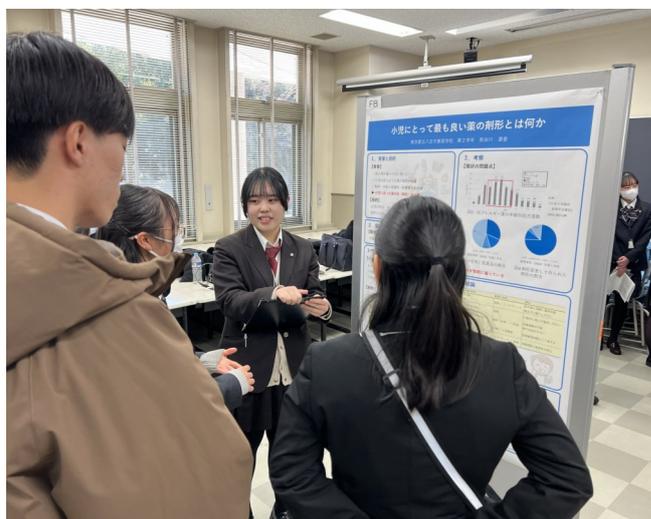


1月31日(土)東京都立大学南大沢キャンパスにて第6回探究学習合同発表会がありました。本校からは2年生の谷光実咲希さん、長谷川凜香さん、水越麻尋さんの3人が「八王子市特有の夕焼けと雲の条件とは何か」「小児にとって最も良い薬の剤形とは何か」「キンバエは肉の腐敗度合いによって集まり方は異なるのか」といった探究内容をポスター発表しました。他校の生徒(およそ150名が参加)との意見交換や、都立大学の先生方から専門的なアドバイスを頂き、探究活動をさらに充実させることができた1日でした。

参加した生徒の感想

長谷川凜香さん

私は「小児にとって最も良い薬の剤形とは何か」というテーマで発表しました。高校生や高校、大学の先生方から自分にはなかった視点からのアドバイスや質問をいただき、高校での探究にとどめず、さらに自分の研究を大学などで深めていきたいと思いました。また、他の高校生の発表も聞き、どれもレベルが高く興味深い内容で良い刺激を受けました。外部での探究発表は初めてでしたが、成果を発信する楽しさや探究活動の面白さを強く感じました。今回得た経験を活かし、3月の探究成果発表会を盛り上げられるよう尽力していきます。



水越麻尋さん

今回の発表を通して、自分の探究について他校の生徒さんや専門家の方々から多くのご指摘や助言をいただき、大変貴重な経験となりました。一人では気づかなかった視点からの質問や、意見交換を通して得られたことは、探究内容をより深めるきっかけになったと感じています。今回得た学びを今後の探究活動に活かし、より質の高いものへと発展させていきたいです。

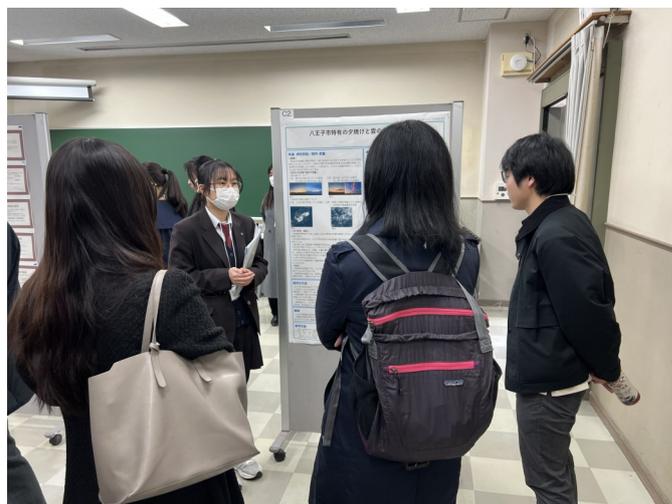


谷光実咲希さん

私は八王子市の夕焼けと雲についての発表を行いました。他校の高校生の他、大学生や先生方にも発表させていただきました。

他者に「伝える」ことで、私の探究の根源にある「好き」という気持ちを再確認する機会になりました。1人で研究しているとつい忘れがちになるのですが、他者との交流によって思い出すことができ、改めて対話の重要性を感じました。

今後は成果発表会に向けて、より伝えたいことが伝わる発表ができるように努力していきます。今回貴重な機会をくださった先生方、ありがとうございました。



高倉大根プロジェクト

地元の農家の方に教わりながら、八王子市特産の高倉大根を種から育てて沢庵にする「高倉大根プロジェクト」。今年も美味しい沢庵が出来上がりました！



種まき

参加した生徒の感想

間引き



種まきでは、例年と異なり高倉大根の種の間にはレタスの種を植えるコンパニオンプラントに挑戦しました。

10月には間引きを行いました。農家の方に間引きを行う意味や、やり方など様々なことを教えていただきながら取り組みました。

12月には収穫を行いました。高倉大根は、普通の大根と異なり細く長いのが特徴です。そのため引き抜く際に強く力をかけすぎると土の中で折れてしまう可能性があります。力加減が絶妙でしたが終盤にはコツを掴みきれいに抜けるようになったのが嬉しかったです。その後、収穫した大根を屋上に干し乾燥を待ちました。

多摩みらいメッセで発表



収穫

沢庵づくり
仕込み完了

沢庵完成！！



大根を干した後はたくあん漬けが始まります。買い出しを行い、漬物樽につけていきます。漬物を漬けたことがなかったため、分からないことばかりでしたが、先輩方と協力し、糠を混ぜて丁寧に樽に入れていくのは大変でしたが、とても楽しかったのを覚えています。たくさんの工程を経て作ったたくあんはとてもおいしく、同時に達成感がありました。今年は夏が長く、思うように活動ができない時もありましたが、伝統野菜を自分の手で作り、加工して食べるという経験は、伝統野菜についての理解を深めるだけでなく、普段食べている食品についても考えるきっかけになりました。

地域の伝統野菜を育てるといっても貴重な体験に参加することができ、たくさんの新たな学びを得ることができました。温暖化による環境変化における農業の課題や伝統作物を受け継いでいくことの重要性を強く感じ、改めて自分たちができることは何かを考える良い機会になりました。高倉大根は種が少なく、失敗したら絶滅してしまうという危機感がありながらの栽培でしたが、立派な高倉大根ができ感謝しかありません。伝統作物ということもあり普段食べる大根とは違う味や形でこの企画でしか体験できないことを経験することができ、よかったです。

